

## 掲 載 記 事

掲載年月日 平成 23 年 12 月 28 日 掲載紙 民報(2面)

民報



路線バスに設置される放射線測定装置

### 実証試験始まる 福島で京大

路線バスに放射線測定装置を搭載して東京電力福島第一原発事故で拡散した放射性物質の環境モニタリングをする実証試験が二十七日、福島市で始まった。

京都大原子炉実験所が

### 路線バス使いモニタリング

した。今回、路線バスに設置

された放射線測定装置は従

来の装置に比べて小型化

し、補正作業が自動化さ

れた。設置も簡単になり、

専門知識のある測定者の

同乗が不要になった。

同大は実用化すれば複

数の路線バスやコンビニ

の配達車などに取りつけ、生活圏内の放射線量

を継続してリアルタイム

で測定できるとしてい

る。結果はインターネット

を通じてパソコンや携

帯電話などから、最新情

報を見ることができるよ

うになる。今回は実証試

験のためデータは公表し

(GPS)による位置情報と合わせ地図上に表示され、インターネットを通じて情報共有ができる。市内の路線バス一台で数週間、実証試験を行う。真内ではこれまで県が同様の装置を乗用車に積載し、放射線量が局地的に高い「ホットスポット」を探す実験や通学路の線量調査などを実施してきた。

ない。